

## 山形県立中央病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用、または、提供されることを希望されない場合は、下記の問合せ先にお問合せください。

研究課題名	脾切除における抗血栓薬服用歴が術後経過に及ぼす影響に関する研究
該当者	2015年1月より2017年12月までの間に当院および日本肝胆膵外科学会専門制度認定修練施設から募った研究参加施設で脾切除を受けられた患者様。
当院の研究責任者	外科 櫻井直樹
研究代表者	奈良県立医科大学 庄 雅之 (消化器・総合外科)
本研究の目的	抗血栓薬服用が脾切除術にどのような影響を与えるかを検討します。
実施予定期間	2019年11月18日(承認後)～2020年12月31日(予定)
研究の方法	脾切除術は、患者様への負担の大きな手術であり、術中術後出血などは大きな合併症となる可能性があります。抗血栓薬内服が脾切除術に与える影響を明らかにすることで、より安全な周術期管理が行えると考えられます。 当院で脾切除術を受けられた患者様の電子カルテ内の情報を用いて、統計学的に解析を行います。同時に日本肝胆膵外科学会・高度技能専門医制度認定修練施設も調査対象施設として、多施設共同で研究を行います。
研究に用いる試料・情報の種類	脾切除後術後出血の発症、術後出血発症までの時間、各抗血栓薬ごとの術後出血の発症、術後合併症(術後血管血栓疾患、脾液瘻、術後胃停滞遅延、腹腔内膿瘍)、術後生存期間について調べます
外部への試料・情報の提供・公表	研究代表者に提供します。
個人情報の取扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報情報は削除します。
利益相反	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業はありません。
お問合せ先	外科 櫻井直樹 023-685-2626